

あすかい

いわき市立上遠野小学校

平成29年12月22日(金) No.16

校長 林 弘美

重点目標 基本的な学習習慣を身につけ、生き生きと目標に向かって努力する子どもの育成

長い長い2学期が終了 年の終わり年の初めの冬休みです



2学期が始まった頃は、季節は夏。まだ残暑厳しく、みんなプールで記録会をやっていたの思い出します。実りの秋は、様々なコンクール、作品展、先生方は多くの研修会に参加し、学習発表会、持久走記録会を経て、季節は冬へ。朝夕の寒さに防寒対策をしながら、本日、2学期の終業式を迎えました。

子供達は3つの季節を過ごし、また一段と成長しました。通知票等をもとに、家庭で頑張ったことやできるようになったこと、そして3学期頑張るとよいところなどを話し合ってください。

私は8月に自己の2学期の目標として、「全校生の名字か名前か、どちらかを全員おぼえること」としました。全校生に毎朝あいさつしながら、「おはよう、〇〇さん」と必ず名前をつけるようにしています。フルネームは無理ですが、全員名字か名前どちらかなら言える、覚えられた、自分では目標達成だと思っています。終業式の校長講話では、2学期の目標を達成できたかどうか、全児童に問いかけました。成果と反省を3学期に生かしてほしいと思います。

そして、年末年始を家族で大切に過ごしてください。事故・事件・けが・病気に気をつけることも大事です。寒いからいいよなどと言わず、一緒に大掃除をする、一緒に餅つきをする、おせち料理を作る、お正月の準備をするなど、是非やらせてください。それが大人になって、家族との絆を感じる素晴らしい思い出になります。

皆様にとってよい年越しになりますよう、お祈り申し上げます。

終業式での1・3・5年生の「2学期できるようになったことの発表」

今年度から終業式にはその学期でできるようになったことを各学年に発表してもらっています。

2学期終業式は1・3・5年生です。

1年生は、国語の教材である音読集「ひばり」の中から、いくつかの詩を全員で群読しました。1年生のかわいい声が詩にぴったりでした。



5年生は、音楽の教科書の曲から、「ゴジラのテーマ」を合奏しました。シンバルやバスキーが、ゴジラ登場の雰囲気表現し、おもしろい演奏でした。

3年生は代表児童が2学期でできるようになったことや3学期頑張ることを発表しました。



3年生代表
2学期の反省と3学期のめあて



1年生
群読
ちいさいおおきい 他



5年生
合奏
ゴジラのテーマ

かなえようこどもたちの夢プロジェクト ぼくの私の将来の夢

十二月十四日(木)の民報新聞に、上遠野小六年生の「ぼくの私の将来の夢」が掲載されました。また民報社の夢を叶える事業として、この中から手島美月さんが、福島ガイナックスに招待され、アニメーションの技術などを体験しました。

医学の道に進むことです 菊池柊花

人の役に立つ仕事につとめたい 蛭田さくら

保育士になることです 門馬碧依

イラストレーターやパティシエ、手作りのアクセサリー販売 手島美月

動物を保護する 羽入芽唯

人の役に立てるような仕事をしたい 常松帆乃

女優やモデルになりたいです 生田目樹里

人の役に立つ仕事につくこと 有賀佳乃子

楽しく安全に暮らすこと 若松恭圭

小説家、漫画家のアシスタント、銀行員 常磐果鈴

だが子屋の経営者です 林俊璃

戦争のない社会を作りたい 松本祐希

スポーツ選手 荒川大地

シヨップスタッフ 芝崎心音

プログラマーになりたい 高橋雅昭

いじめのない社会を作りたい 大泉さいか

だがし屋経営です 鈴木風汰

頭がよくになりたい 円谷慎吾

スポーツ選手になることです 生田目優

野球がうまくなりたい 佐藤輝

頭がよくになりたい 小野敦也

人に役立つ職業になりたい 大隅輝弥

バドミントンでオリンピックに出る 荒川祐人

消防士になりたい 瀬谷翼

声優(ミュージカル)になりたい 大竹結里

いそがしくない社会にしたい 蛭田翼

おぼろさん(お父さんのあとつぎ) 佐竹智徳

ペットシヨップ 榎田幹

任天堂カソニーの会社に入る 永井陸翔

いろいろな夢をさがしたい 齋藤優斗

福島県被災専修学校支援事業「2017福島職業教育フェア」

職業体験出前講座 ゲームプログラミング体験学習

キャリア教育の一環として、6年生が出前授業で職業体験を行いました。6年生の希望した職業体験は、ゲームプログラミングです。最近の小学生の将来になりたい職業の中に、ゲームソフトなどを作る仕事、プログラマーがあります。上遠野小の6年生の中にも、プログラマーになりたい児童がいます。私が小学生の時には考えもつかなかった職業です。

授業では、郡山市の国際情報工科自動車大学の田村裕樹先生をお迎えし、ゲームソフトのプログラミングを学習しました。先生は、小学生に合った興味をそそる楽しい教材を準備してくださいました。

そっと教室をのぞくと、6年生全員が今まで滅多に見たことのない集中力で、しーんと誰もしゃべらず、パソコンに向かって、ひたすらキーボードを打ち込んでいました。自分の打ち込んだ数式や文字式で、ゲームの中のキャラクターが走ったり跳んだり、宝物を手に入れたりするようになります。キャラクターがジャンプしすぎて画面から消えてしまったり、後ろ向きに歩くようになっている児童もいました。また、数式や文字式の打ち込みに少しでもミスがあると、全く動かなくなったりもします。モニターを見ながら「どこがダメなの？」などと、友だち同士で話し合う姿も見られました。ちょっとオタクな6年生の姿を見て、将来この中からプログラマーが生まれるかもしれない、そんなことを感じさせる授業でした。



全校集会で いじめについての絵本の読み聞かせを聞いて

前回紹介したように、12月11日の全校集会で、いじめについての絵本「わたしのいもうと」の読み聞かせを全児童に行いました。その感想を6年生が書いてくれました。その中から1つを紹介します。10分程度の読み聞かせと校長講話でしたが、いじめについてしっかりと



た考えを持ってくれたことに大変感激しました。松本くんたちのような6年生がいれば、上遠野小からいじめは起きないと信じてことができます。トラブルがあっても、話し合っって乗り越えていくよう指導していきます。

最初は学校や新しい町に住むことを楽しみにしていたのに、学校でいじめられて学校がきららなくなったと思う。しゃべり方が変だからといていじめられるのはどうかと思う。いじめている人に直接何もしていかないのに、いじめるのはおかしい。いじめられている人はとても苦しいのに、いじめた人は、楽しく学校に行っている。罪悪感すらない。とてもひどい人たちがだと思っていた。国がちがっても、言語がちがっても、はだの色がちがっても、人は人。生まれつき障がいがある人も、その人が障がいを持ちたくて生まれたわけじゃない。校長先生は、「上遠野小からいじめを絶対になくす」と言っていた。頑張らなくてはいけません。この世界からいじめがなくなると、楽しく暮らせる世界になってもいいと思いましたが、

六年 松本祐希

